

田野家住宅（旧田野医院）見学会のお知らせ

主催：初代松江警察署庁舎調査研究会
会長 和田 嘉宥

主催の初代松江検察所調査研究会は雑賀町で平成 26 年に見つかった初代松江警察署庁舎を調査研究し、保存・再生・活用することを目的に組織されました。現在その建物は解体され、部材として保管されています。研究会では、初代警察署の詳しい履歴を調査し、当初の形がどのようなものであって、どのように改変されていったのかを解明しながら、復原に向けての努力をしています。この建物を復原するには建設地の選定とともに、再建のための経費が必要です。それには行政の協力および支援はもちろんのこと、一般市民の理解と協力も必要不可欠となります。研究会は調査研究と共に、保存・再生のための行政への働きをはじめ、あらゆる努力をして行きたいと考えていますが、皆様にもご理解・ご協力・ご支援をお願いいたします。

また、研究会は今後初代松江警察署に限らず、市内に現存する歴史的建造物や歴史的まちなみを後世に伝えていくことも、あわせて進めていきたいと考えています。そのための見学会やまち歩き、フィールドワークを皆様と一緒にやっていきたいと思います。その第 1 回目として、今度、田野家住宅の見学会を企画しました。

田野家住宅（旧田野医院）は、松江市苧町にいわゆる洋風建築の洋式を兼ね備えた木造 2 階建て建築です。この建物は明治 6 年に創設された私立苧町病院であると考えられます。明治 6 年の建築が事実しますと、医院としては現存する日本最古の遺構となります。苧町病院として使用されていたこの建物は明治 19 年に田野俊貞博士が所有し、安任堂田野医院が開設されました。この医院は産婦人科医院として長く親しまれてきましたが、長崎で被爆し、原爆と戦い、被爆者を救護し続けた故永井隆博士がここで誕生したという歴史のある建築でもあります。

現在、この建物は松江市の所有となりましたが、一般公開は初めてです。明治初期の建築がどのようなものであったかをみるのにはいい機会であります。これまでの調査結果を説明しながら見学していただきます。

概要

期 日 平成 27 年 1 月 31 日（土）

時 間 受付 13 時から 見学会開始 13 時 15 分～15 時 30 分（予定）

説明項目と担当者

- | | |
|--------------------|-------|
| 1. 松江藩の洋医学と苧町病院の開設 | 和田 嘉宥 |
| 2. 田野家住宅（旧田野医院）の特色 | 安高 尚毅 |
| 3. 田野医院と永井博士の関わり | 竹永 三男 |

説明は 2 階で行います。暖房がありませんので防寒着を用意して下さい。

費 用 無料ですが、松江警察署再建のための寄付金を募ります。ご協力をお願いします。

申し込み 不要 問い合わせ先 足立 0854-27-9308

駐車場 松江市役所駐車場